

大和証券グループのCSR

重要課題 2

健全な金融・資本市場を
発展させ次の世代につなげる

考え方・基本姿勢

金融・資本市場は社会を支える不可欠な社会インフラです。

大和証券グループは、透明で公正な金融・資本市場を持続的に発展させることが金融機関の重要な社会的使命と考えています。

例えば、大和証券では、社員に対して法令遵守と自己規律を徹底するとともに、高い職業倫理を浸透させるためにファイナンシャル・プランナーの専門資格を平成22年度末までに全員が取得することを目標としています。

また、日本で唯一の証券専門チャンネルである「ダイワ・証券情報TV」※では、質の高い金融・資本市場情報を広く提供するために、アナリスト情報のみならず、ビジネス全般や暮らしに役立つ経済情報を発信しています。

グループ全体では、健全な金融資本市場育成のためには、特に青少年の金融に対する理解度を高めることがきわめて重要との認識から、青少年への経済教育活動を展開する世界最大の非営利法人ジュニア・アチーブメントとの協働や、企業研修の受け入れ、産学連携なども続けています。

※「ダイワ・証券情報TV」…臨場感あふれるマーケット情報を中心に経済・金融の基礎まで、スカパー!ch.766および一部ケーブルテレビにて毎日7時～26時に好評放送中。

ダイワ・証券情報TV <http://daiwa766.jp/>

健全な金融・資本市場の発展に向けた取組み

コンプライアンスの方向性

→ マネジメント報告 > コンプライアンス をご覧ください

経済・金融教育への取組み

→ 社会性報告 > 社会とのかかわり > 経済・金融分野での教育・研究活動 をご覧ください

持続可能な社会実現に向けた情報発信

ダイワ・証券情報TV

大和証券メディアネットワークスは、証券・経済に関する知識をより多くの人に広めるため、大和証券グループ独自の情報力と分析力を駆使し、日本で

唯一の証券専門チャンネル「ダイワ・証券情報TV」を運営しています。

「てってーてきに証券をわかりやすく」をモットーに、

「信頼」ある証券情報を「正確」かつ「迅速」に伝えるよう番組を制作しています。「ダイワ・証券情報TV」では、新鮮・充実のマーケット情報から経済トレンド番組、楽しく学べる証券基礎講座まで、多彩な

番組ラインナップで証券投資の経験の有無を問わずご満足いただける番組構成を目指しています。
ダイワ・証券情報 TV <http://daiwa766.jp/>

ウェブサイトでの情報提供

大和証券グループのウェブサイトでは、お客様や投資家だけでなく、次世代の子どもたちなど、すべてのステークホルダーに向けての情報発信を行っています。

大和証券が提供する、マイクロファイナンス特集やウォーターボンド特集をはじめとした、各種特集サイトでは、商品や債券が生まれることになったバックグラウンドなどを紹介し、環境問題をはじめとする、社会が抱えている課題を広く発信することで、商品の意味や、必要性について考える機会を提供しています。

また、大和証券グループ本社が提供する「対話で考えるCSR」では、大和証券グループ本社CSR室室長の河口真理子とCSRの第一線で活躍されている有識者との対談を連載しています。

投資を通じた社会貢献 - インパクト・インベストメント

<http://www.daiwa.jp/impact/index.html>

対話で考える CSR

<http://www.daiwa-grp.jp/branding/dialogue/>

リサーチ、コンサルティング業務を行う大和総研では、2009年4月に環境関連ITサイト「グリーンイノベーション」を立ち上げました。大和総研がこれまで培ってきた環境関連の研究を統合・体系化し、法制度、産業、環境マネジメント、グリーンIT、排出量取引、海外動向などの情報を発信しています。課題の明確化と適用可能な情報技術の評価や紹介などを通じて企業経営を支援します。

グリーンイノベーション

<http://www.dir.co.jp/souken/green/>

「環境関連分野」についての情報発信

優れた環境技術を持つ企業への投資を促すためには、個人投資家を含めさまざまな投資家が容易にアクセスできる形で、個別企業の動向や政策の影響などについての最新情報を発信していくことが重要です。

大和総研は、環境関連分野についてCSR、SRIとしてのテーマにとどまらない「成長分野」とあるという認識の下、投資戦略部に環境分野に特化したストラテジストを配置。

2009年度は、環境政策や環境投資などについて、個別企業のアナリストとも連携しながら数多くの環境関連レポートを発行しています。

グリーンイノベーション

<http://www.dir.co.jp/souken/green/>

これらレポートは、機関投資家だけでなく、「ダイワ・ダイレクト」※経由で個人投資家など幅広い層の投資家にご活用いただいています。

また、投資家の環境問題への注目が高まるなか、「ダイワ・ウォーター・フォーラム」、「低炭素時代における社会・経済・企業経営を考えるー地球規模の変革にどう向き合うかー」など環境関連セミナーも積極的に行なっています。

※「ダイワ・ダイレクト」:大和証券が提供するオンライントレードサービス

国際会議等での情報発信(政策提言)

■ **Micorfinance Investment in Asia に参加**
2010年1月26-27日にシンガポールで開催されたマイクロファイナンスをテーマとした国際会議「Microfinance Investment in Asia」に大和証券商品企画部 企画課次長 山本聡が参加しました。アジアにおけるマイクロファイナンスを用いた投資の機会と、普及に向けた提言をするとともに、

■ TBLI カンファレンスに参加

大和投資信託がスポンサーとして協力している「TBLIカンファレンス」が、5月27・28日、椿山荘(東京・文京区)にて開催され、グループ本社 CSR室長 河口真理子と大和証券 商品企画部 企画課次長 山本聡がパネルディスカッションに参加しました。

当イベントは、国際的なSRIカンファレンスであり、海外からも、欧州・米国・アジアの金融機関、年金基金、公的機関やNPOなど約300名が参加。当カンファレンスを通じて、SRI市場の動向、温暖化などの環境問題と投資、新興市場の情報開示やガバナンス、オルタナティブ投資、SRI調査、マイクロファイナンスなどの広範なテーマを討議しました。河口は、日本のSRI市場の動向についてプレゼンテーションし、日本のSRI・インパクト・インベストメ

ンパクト市場についてのポテンシャルが高いことをアピール。また山本は、大和証券グループの「インパクト・インベストメント」の取り組みを紹介しました。

アジア各国の国際機関や、マイクロファイナンス機関などと意見交換を行いました。今後も、国際機関や、各国の中央銀行などの集まる場においても、大和証券グループの知見やノウハウを発信することにより、政策への提言をしていきたいと考えています。

